

平成30年度 中学部 家庭生活シラバス 時数5時間/週

教科等のねらい

- ・家庭生活で必要な知識、技能を身に付け、進んで取り組もうとする態度を育てる。

主な指導内容

- ・基本的生活習慣（衛生、排泄、食事マナー、着替え、整理整頓）
- ・家事（清掃、調理、洗濯、裁縫、ごみ分別、アイロン）

評価方法

- ・観点（①関心・意欲・態度、②知識・理解、③技能、④思考・判断・表現）を設定し、複数職員  
の観察から評価する。
- ・単元の終段で学習した内容が実際にできるか実技検査の機会を設定し個別の達成度を評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容	主な学習活動	評価の観点
5	家庭での仕事1  中学部調理室使用：6月	○家事 ・洗濯（洗濯機の使い方、洗濯干し、収納等） ・掃除、整理整頓（玄関、風呂、部屋等） ・お茶入れ ・ごみの分別 など	・洗濯に関する仕事を学び、行う。 ・掃除用具の使い方を知り、掃除ができる。 ・お茶の入れ方を知り、ふるまう。 ・来客へのおもてなしの仕方を学ぶ。	① ② ② ③ ③ ④
7	調理の基本1	○調理 ・衛生 ・調理室の使い方 ・火の扱い方、電子レンジの扱い方 ・調理用具の使い方（包丁、キッチンバサミ等）	・調理室の使い方や用具の場所を理解する。 ・調理に適した清潔な服装や手洗いをする。 ・ガスの扱い方や火の調節、電子レンジの扱い、安全面について知る。 ・炊く、ゆでる、炒める等の調理方法を学び調理に取り組む。（米飯、味噌汁、スープおかず、麺類、ピザ、お菓子など） ・調理用具や食器を洗浄、清拭、収納する。	① ② ③
10	家庭での仕事2	○家事 ・洗濯（洗濯機の使い方、洗濯干し、収納、アイロンがけ等） ・掃除、整理整頓（玄関、風呂、部屋） ・お茶入れ など	・洗濯に関する仕事ができる。 ・掃除用具の使い方を知り、掃除ができる。 ・ポットややかんを使って湯を沸かし、お茶を入れる。	② ①② ④②
12	調理の基本2  調理室使用：12月	○調理 ・衛生 ・調理室の使い方 ・火の扱い方、電子レンジの扱い方 ・調理用具の使い方（包丁、キッチンバサミ等）	・食品や食材、調理用具の名前を学ぶ。 ・安全や衛生に気を付けながら調理する。 ・道具の準備や片付けを行う。 ・炊く、ゆでる、炒める等の調理方法を学び調理に取り組む。 ・調理用具や食器を洗浄、清拭、収納する。	①③ ④ ② ②④ ④②
1～2	衣服の扱い	○衣服の保管  ○衣服の補修 並縫い、玉留め、玉結び、ボタン付け	・衣類を畳む。収納する。 ・アイロンがけをする。 ・裁縫用具の名称や使い方を知る。 ・玉留め、玉結び、並縫いを行う。 ・名札付けやボタン付けをする。	②③ ③ ② ③ ③

【デイリー・カリキュラム】

月	単元名	指導内容 (◎ 重点)	主な学習活動	評価の観点
通 年	「着替え」 (場面) ・登下校時 ・体育、配膳等 ・汗の始末時 など	○着替え ○場面の理解 ○着替えの手順、方法 ○着替え動作 ◎身なりの確認 ○場面や気候に応じた衣服 の選択、調節	・スポーツや調理等、場面に 応じて着替えをする。 ・前後左右に注意をして衣服の 着脱をする。 ・脱いだ衣服を畳む。 ・身だしなみが整っているか鏡 を見て確認をする。 ・季節や気温、体調に応じて衣 服を選択して着替える。	④ ③ ③ ④ ④
	「トイレ」	○排泄の知らせ ○衣服の操作 ◎排尿、排便 ○手洗い	・定時、又は出たいときに、教 師に伝えトイレに行き、排泄 をする。 ・和式洋式問わず、正しい姿勢 で排泄をする。 ・紙で拭き取る。 ・身支度をする。 ・排泄後に手を洗う。	① ③ ③ ③ ③
	「清潔」	○手洗い ○うがい ○歯磨き ○鼻かみ ○換気 ○検温 ○マスク	・手の汚れに注意をして洗う。 ・屋外での活動後、手洗いとう がいをする。 ・ハンカチを使って手を拭く。 ・食事前や排泄後などに手を洗 う。 ・食後などに歯を磨く。 ・ティッシュで鼻をかむ。 ・季節や体調に応じて換気や検 温を行う。 ・健康状態や周囲の環境に応じ て適宜マスクを着用する。	④ ④ ③ ③ ③ ③ ④ ④
	「洗濯」	◎洗濯 ・洗濯機の使い方 ・干し方 ・畳み方	・洗濯物の量に応じた洗剤の分 量を扱う。 ・給食着を洗って干す。 ・きれいに畳んでしまう。	④ ③ ③